

フローラ薬局 1 1 週間実習報告



城西国際大学 薬学部

5年 菅谷 香織

薬局での一般目標

薬局の社会的役割と責任を理解し、地域医療に参画できるようにするために、保険調剤、医薬品などの供給・管理、情報提供、健康相談、医療機関や地域との関わりについての基本的な知識、技能、態度を修得する

薬局でのユニット

薬局アイテムと管理

情報のアクセスと活用

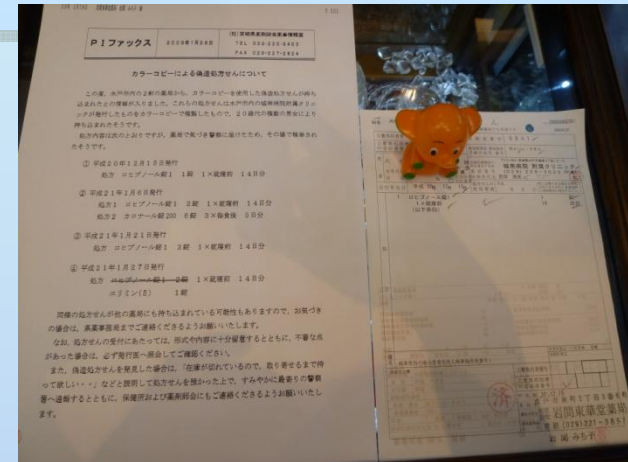
薬局調剤を実践する

薬局カウンターで学ぶ

地域で活躍する薬剤師

薬局業務を総合的に学ぶ

薬局製剤の体験



< 岩間東華堂薬局にて体験 >

- ◆ 鎮咳祛痰剤 9号・解熱鎮痛剤 4号Aを作った
- ◆ 薬局製剤について理解（薬局製剤の意義・承認・許可についてなど）
- ◆ 偽造処方箋を実際に閲覧

実際に薬局製剤を体験することで薬局の色を一番出すことができる事を知り、自分が作ることで自信を持って患者さんに提供できる薬であることがわかった

漢方製剤の体験



クコ

ハーブガーデン

< フローラ薬局本店にて体験 >

◆ 実際の漢方処方箋を見ながら調剤

◆ フローラハーブガーデンを見学

● 漢方を実際に調剤しなかったのがなかったので、分包をするために生薬を均一に均すのが大変だったがよい経験ができた

情報のアクセスと活用

★秋の果物のカロリーは？
 ビタミン豊富な旬の果物 1単位を守っておいしく食べましょう！

食品	1単位 (80kcal) の目安	
ぶどう	巨峰10~15粒 約1/3房 デラウェア 小1房 150g	
梨	大1/2個 200g	
りんご	小1/2個 150g	
柿	中1個 150g	
みかん	中2個 200g	
グレープフルーツ	小1/2個 200g	
キウイフルーツ	小2個 150g	
もも	大1個 200g	
マンゴー	中1/2個 150g	
さくらんぼ	約30粒 150g	
すいか	1切れ 200g	
マスクメロン	小1/3個 200g	
イチゴ	約17粒 250g	
ブルーベリー	生 150g ジャム31g (大さじ1杯半)	

フローラ薬局
薬学実習生 菅谷香織

< 患者さんへの情報提供 >

- ◆患者さんへ情報提供する資料の作成
- ◆実際患者さんに説明

< 工夫 >

- ◆目の悪い患者さんへ情報提供をするためなるべく大きい文字で作成した
- ◆大事な部分は赤色にした
- ◆果物の絵を使い量がわかるようにした
- ◆列ごとに色分けした

患者さんと実際に会話しながら情報提供することで患者さんにとって何が欲しい情報なのか、どのようにしたら理解してもらえるようになるのか考えるようになった

薬局調剤を実践する

インシデント防止
する調剤の工夫



一包化による服薬支援



服薬指導から薬歴作成



ロールプレイ

薬剤師の先生の服薬指導の見学

実際に患者さんへ服薬指導

- 実際に服薬指導した時とても焦ってしまい何を言えばよいのかわからなくなっていたが、薬剤師の先生がすかさずフォローしてくれたのでその後の服薬指導もやりやすかった
- 自分で作成した資料を患者さんに情報提供していたため、服薬指導する際に患者さんに対してそこまで緊張せずに服薬指導ができた

薬局カウンターで学ぶ (OTC販売の実習体験)



< コヤマ薬局で実習 >

- ◆ OTC医薬品の検品・品だし
- ◆ 特定保健用食品の説明

OTC医薬品や特定保健用食品について関わる機会がなかったので、実際に触れたり患者さんと話している姿を見ることでどのようにOTC医薬品が売られているのかわかった



< 禁煙補助薬 >

- ◆ 第1、2、3類の違いについて勉強
- ◆ 実際にニコチンガムを体験
- ◆ OTCの情報提供や陳列方法の違いについて新しい薬事法の勉強会にも参加した

地域で活躍する薬剤師



茨城放送ラジオ

◆茨城放送ラジオでの薬の番組

簡易懸濁法とセンナについて

◆茨城県がん患者の会で講演

薬とサプリメント、薬の飲み合わせ

◆NHK教育テレビからサプリメント取材

◆NHK漢方・薬膳講座

漢方や旬の食品、薬膳料理

◆茨城県国保連合会でジェネリック講演

ジェネリックについて

◆その他水戸薬剤師会の勉強会への参加、薬と健康の週間での薬と禁煙の相談会など

地域の方が健康に対して強い興味を持っていることがわかった



薬膳料理 426kcal 塩分2g

学校薬剤師と休日夜間診療所



< 学校薬剤師の職務 >

◆ 実際に学校薬剤師の職務体験

- 照度検査
- ダニアレルゲン検査（保健室、パソコン室、校長室）



< 休日夜間診療所 >

- ◆ 医師の診察見学
- ◆ 調剤の実務体験（水剤、散剤）
- ◆ 服薬指導のロールプレイ

病院や薬局以外で薬剤師がどのように地域に関わっているのかわかった

小学校でタバコについての啓発活動



ロールプレイ

- ◆ 小学生にたばこの正しい知識を持ってもらうための講演を見学
 - ◆ タバコを誘われたときにどのように断り方のロールプレイでの参加
- タバコに害があるのは知っていても実際どのくらい自分に害があるのかは知らなかった
 - 小学生のうち正しい知識を持つことは必要だと感じた
 - 自分の親に禁煙を勧めたり、自分は吸いたくないと感じてくれたらよいと思った

薬局業務を総合的に学ぶ (在宅に関連させて)



<在宅>

- ◆在宅の患者さんの家に一緒に行かせていただき、実際の服薬状況を見てきた
- ◆在宅の患者さんはお薬の飲み忘れが多いためお薬カレンダーの作成を体験
- ◆在宅の無菌調剤を体験

- 実際の患者さんの家に訪問することができ、飲み忘れをなくすためにはどのようにしたほうがよいのか（一包化してお薬カレンダーに入れる）などわかることができた
- 薬剤師が関わることで患者さんにとってどのようなことがよいのか（薬の管理を薬剤師が行う、薬を服用しにくい患者さんに剤形を変えたり、違う方法に変更するなどの薬の情報提供できるなど）知ることができた

実際の症例をまとめて

症例 3

- 65歳 男性
- <病名> 直腸がん
- <既往歴> 糖尿病、腎機能障害あり
- H22.06.11退院して訪問診療が開始、医師の指示によりH22.06.14在宅訪問管理指導を開始
- 退院後すぐ発熱、痛みのコントロールが不良となる。
PCAボタンを頻回に押す状態
- <在宅での問題点>
 - シリンジポンプの不具合と、シリンジポンプ使用によるQOL低下あり（モルヒネ、サンドスタチン使用）
 - 疼痛コントロールの不良（臀部疼痛、しびれは初期なし）
 - 食事を十分取れていない
 - 嘔気あるが、ノバミンをあまり服用されない

問題点の対策

- シリンジポンプの不具合
モルヒネ注12mg をデュロテップMTパッチ2.1mgに経時的に変更
サンドスタチン注は携帯型ディスポーザブル注入ポンプに変更
(処方量提案)
 - 疼痛コントロールの不良
 - デュロテップMTパッチ2.1mg, モルヒネ注10mg/day (6.14時点)
+ 頓 モルヒネ注(PCA), オブソ5mg
 - デュロテップMTパッチ4.2mg + 頓 オブソ5mg
 - デュロテップMTパッチ8.4mg + 頓 オブソ10mg
 - デュロテップMTパッチ8.4mg, ボルタレン錠25mg 3錠分3 (6.21時点)
+ 頓 オブソ10mg, ボルタレンサポ50mg
- 増量
- ボルタレンサポ使用により痛みのコントロールがやや改善するもまだまだ痛みのコントロールは良好でなく、WBC, CRP上昇が著しいこと、排便がストーマからだけでなく肛門からも出てしまう状態となったためH22.06.24再入院
- 少量経口摂取 + アミノフリード500ml
輸液をフルカリック1号に変更
 - ノバミンについて理解してもらえるようにもう一度説明

◆ 実際の在宅の患者さん情報から在宅の流れをスライドで作った

- この症例をまとめることで在宅での薬剤師の関わりや処方内容の意義を理解することができた

在宅の地域連携カンファレンス



笠間地域ケア連絡協議会



緩和ケア研修会
(県立中央病院)



水戸在宅ケアカンファレンス
(水戸済生会病院)

◆在宅の地域連携カンファレンスや県立中央病院の緩和ケアの研修会に参加した（病院薬剤師との薬薬連携や他職種との地域連携を学んだ。見学だけではなくほかの職種の方に簡易懸濁法についてみてもらうために見本を持ちながら回り説明するなどをして参加もできた。）

薬剤師が関わるためには薬剤師は何ができるのか示していかないといけないことがわかった（他の職種の方は薬剤師が在宅で何ができるのかわからない）

実習を振り返って

- ◆ 薬局では調剤や在宅などをしていることは知っていたがそれ以外に地域の啓発活動として講演などしていることをはじめて知った
- ◆ 質問をしてもいやな態度をとられずに笑いながら教えていただいたので、質問しやすい環境で楽しく実習に取り組むことができた
- ◆ 薬について先生方にいろいろ説明していただいたので実習前より詳しくなった
- ◆ 薬局実習 = 調剤というイメージがあったが、実際に実習が始まると講演など外に出ることが多かったため、地域の方とのふれあいや他職種の方とのお話を聞くことができよい経験をさせてもらった
- ◆ 興味があった在宅訪問に多く関わらせていただいたため、とても興味を持って実習に取り組むことができよい勉強になった

今後の実習に向けての要望

- ◆ 実習する薬局でよくでる薬の種類について最初に学ばせてもらえると、その後の実習に取り組みやすくなると感じた
- ◆ 学生が興味を持っていることに多く参加させてもらえるとよい経験になると思う
- ◆ 実習中の薬局内だけでなく外の講演や他の薬局の実習にも参加させてもらえたらよい体験ができると思う（外の講演や他の薬局での体験が多く、いろいろな職種の方の意見を聞く機会や薬局の違いなど見ることができ、よい経験ができた）

終わりに

受け入れ薬局であるフローラ薬局の指導薬剤師・篠原久仁子先生、松本唯先生はじめスタッフの先生方に丁寧なご指導をいただきありがとうございました。

協力薬局の岩間東華堂薬局の岩間先生、コヤマ薬局の延島先生ならびに水戸薬剤師会の先生方が地域で連携して、温かく楽しい実習指導をしていただきありがとうございました。

今回このような発表の機会をいただき、学生のために実務実習受け入れ態勢を整えて下さいました茨城県薬剤師会に感謝申し上げます。